

あすなろ会（北谷小学校内）

石畠弘之・中村伍一郎
安岡明治

水と緑と雪の勝山 市制三十周年のキヤッキフレーズは決
まつたが、この三つが今後の市の市
政にどのように組合わされ、人
口減と五六六年を一周期に繰り
織維工業の不安定に悩む勝山市
が、どうしたら、国内に、そし
て国外にはばたくことができる
であろうか。

ひとは、一九七四年を発想した。換の年というが、高度成長経済に支えられた国内産業は、石油価値上げによって抜本的な変革を余儀なくされた。

「朝日」の社説で、「一億の國

(1) 市民の生活安定をどうするか。
 (2) 住みよい環境づくりをどう達成するか。
 (3) 教育と福祉はどう向上させるか。

の苦い経験を生かし、BOD検査機を購入し、環境保全のために一步前進したが、この上は環境モニターや公害展示館などによって認識を高めると共に環境アセスメント（事前調査評価）により、地域全体の生活向上を目的とした公共事業にさえ住民との摩擦を避けねばならなくなつた。

市では、既に水呑谷の地すべり被害を予防する多目的ダムが企画されているが、このほかの一級河川に蛋白源の養魚、工業生活用の多目的ダムの建設を実現する必要がある。

次処理にまで及ぶ数歩進んだ段階を思うとき、市の計画はいわば最低限のものといえる。

微傾斜をつけたての片側撒水、川水利用の揚水式融雪で時にヒーターを温めて、両側溝を利用して道路へ流すのを交互に繰り返す方式をとつたらどうか。

福井一勝山間が海抜二千五百メートルで結ばれるとすれば、海拔三百二十メートルは一㍍に五㍉の平均傾斜を持たせることができる。

市町村		理想な 十万に だわら しての 越前市 前市
増 加	14~10%	0~4%
15%以上	14~10%	0~4%
福井市	鯖江市	武生市
9~5%	4~0%	南条町 松岡町 高浜町
敦賀市	永平寺町	金津町
春江町	宮崎町	丸岡町 井町

製品生産額および販売額の状況			
区分	年度	35年	40年
商品種別販売額		472,071	542,
工芸製品出荷額		5,137,333	11,070
農産物生産額		829,101	1,149
林産物生産額		258,939	210
価値の高いもので、付加問題もあるので、	急増などの問題もあるので、	貨金の上昇需要の高級化途上國の勞働力不足は今日特に	

広がる緑（生活を緑で包む
グリーンネットワークを目指す）

河川名	延長
九頭竜川	17.0km
女神川	7.2
淀川	4.0
淨土寺川	6.7
葛見川	3.5
浅波川	14.1
野津又川	0.8
温川	2.0
皿谷川	6.5
鹿川	5.6
畠屋川	2.8
見川	5.2
計	12
	75.4

（所調張本木由士）や北陸高速道路が五十四年、福井新港が五十一年一部完成、六十一年完成や福井空港の整備など考えると、

う。
結ぶ方が、将来性のある生産や
生活の多様化が図られるであろ

勝山市各種道路の整備状況

路線名	実延長	改良済			端装済		自動車交通不可	
		延長	率	延長	率	延長	率	延長
157号線	22.6km	7.2km	31.8%	19.9km	88.1%	0	0	0
福井-勝山	8.4	8.4	100.0	8.4	100.0	0	0	0
小松-勝山	10.7	0.8	7.5	4.9	45.8	5.9	55.1	0
勝山-丸岡	5.0	0.8	16.0	3.3	66.0	0	0	0
他の一般県道	49.8	13.9	27.9	30.1	60.4	5.8	11.6	0
市道	306.3	41.6	13.6	54.1	17.7	12.2	4.0	0

國產藥構造の改革（多様化）

新編 江戸の古文書

市町村人口の動態(38年~47年)		
増加	減少	少
15%以上 福井市 9~5%	14~10% 鯖江市 4~0%	0~4% 武生市 松岡町 芦原町 高浜町
敦賀市 春江町	水平寺町 宮崎町 美浜町	南条町 金津町 丸岡町 坂井町
豊田市 足利市 松阪市	越前町 大河内町 理佐町	小浜市 大野町 上北山村 三國町 河野村 越前町
市	理	清水町 三方町 今立町 朝日町
郡	広	勝山市 綿田町 上中町
町	の	美山町 池田町 和泉町 今立町 越代村 大坂町
村	福	名田庄村

市町村人口の動態 (38年~47年)

減	少	少	少
0~4%	5~9%	10~14%	15%以上
武生市 松岡町 芦原町 金津町 丸岡町 坂井町	南条町 高浜町 大野市 上志比村 三国町 河野町 越前町	小浜市 大野市 今立町 朝日町	清水町 三立町 今立町 上中町
			勝山市 織出町 越後村 大飯町
			美山町 池田町 和泉村 今立町 越後村 大飯町

製品生産額および販賣額の状況 (単位:千円)

製品生産額および販売額の状況 (単位:千円)			
区分	年度	35年	40年
商品種別販売額	472,071	542,114	597,620
工業製品出荷額	5,137,333	11,070,530	26,596,860
農産物生産額	829,101	1,149,257	1,119,445
林産物生産額	258,939	210,815	204,243

はかる企業の集約化は進展しない織物業で、は今日特に労働力不足、賃金の上昇、需要の高級化、途上国の急迫などの問題もあるので、付加価値の高い

製品生産額および販売額の状況 (単位 千円)			
区分	年度	35年	40年
商品種別販売額		472,071	542,114
工業製品出荷額		5,137,333	11,070,530
農産物生産額		829,101	1,149,257
林産物生産額		258,939	210,815

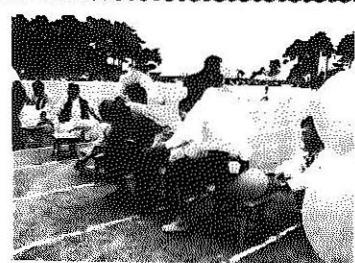
道 路 除 雪 計 画								
区分	市 道		国 道		主要地方道		一般県道	
	延長	路線数	延長	路線数	延長	路線数	延長	路線数
1次	44.9km	51	7.7km	1	8.6km	1	1.4km	1
2次	29.1	49	8.3	11	6.7	2	21.9	2
3次	11.3	18	6.7	11	3.0	1	16.8	2
4次	25.9	8			1.5	1	1.7	1
計	111.2	126	22.7	1	19.8	5	41.8	6

昭和四年 運設課調

(2) 機械工業の体質改善（企業の集約化）

当市の機械業者は約四百（四十五年）就業人口約七千人（四十五年）にのぼる、四十二年六月から回復に向つた機械不況も四十五年二月頃からの金融引締めや、米国の輸入制限、東南アジアの自給化で不況は変らず、さらに四十六年以降のドルショックなどもあり、不況は長期化してきた。

この間、設備買上げや二百億円以上の政府資金の投入で、四十七年頃に回復したが、間もなく襲ってきた石油不足による原



第二回老人スポーツ大会は
十月十八日前九時半から長
時間の競争を楽しめました。

この日、朝早くから続々会場へつめかけた市内のお年寄りたちは、グランドに各クラブ連合会長のあいさつ、福井市議会議長の祝辞があり、参加者を代表して石田太さん（元、市議事代理、高野市長、石田）

山公園グランドで市内のお年寄り約千五百人が参加、秋晴れの一日を風船割りや魚釣り競争などを楽しみました。

競技は先づ魚釣り競争から始まり、各チームのお年寄りらははち巻姿も勇しくボート紙で作られた魚を竿の先のかぎで釣り上げゴールめがけて一目散、日頃走りなれていないせいいか足がスムーズに前へ出ない人もあり、観覧席からの応援に一生懸命力走っていました。

順位を表わした小旗を持つアの旗を立て大会のふん団気は抜群。

開会式に参加、木下市高幹

者連合会長のあいさつ、福井

市議事代理、高野市長、石田

市議会議長の祝辞があり、参

加者を代表して石田太さん（元、

秋晴れの一日を 風船割りなどで楽しむ

第二回老人スポーツ大会

十時十八日前九時半から長

季を通じて恵まれた天然の美観

以上の五点が今後にかける未

来都市勝山、田園都市勝山の基

となるべきだと思います。今は

たちの成りとなつた勝山市、一

歩は軽く二歩は重い。更に前途

は厳しく苦難の道ではあります

が、やらねばならず、やれば出

来る確信と光明を求める、更に大

きな夢を描くことが今勝山市の

自然の山と水、そして雪、四季を通じて恵まれた天然の美観

を整え、県内外の住民の唯一の

憩いの地としての観光とレクリ

エーションの町。

以上の二歩は重い。更に前途

は厳しく苦難の道ではあります

が、やらねばならず、やれば出

来る確信と光明を求める、更に大

きな夢を描くことが今勝山市の

勤げる町。

(5)行ってみたくなる町

自然の山と水、そして雪、四季を通じて恵まれた天然の美観

を整え、県内外の住民の唯一の

憩いの地としての観光とレクリ

エーションの町。

以上の二歩は重い。更に前途

は厳しく苦難の道ではあります

が、やらねばならず、やれば出

来る確信と光明を求める、更に大

きな夢を描くことが今勝山市の

ために歩いてみたくなる町

恵まれた自然の美を味わいつつ、一家団らんと明日への活力

のために充分な锐気の養える町

(3)学んでみたくなる町

児童から大学生までのすべて

の勉学者、保育者が折ねられな

い大自然の中で快活に勇敢に学

べる町。

(4)働いてみたくなる町

すべての人間は働く義務があ

り、生き長らえる権利がある。

この義務と権利を主張できる職

場、環境を整え市民が安心して

働く町。

(5)行ってみたくなる町

自然の山と水、そして雪、四季

を通じて恵まれた天然の美観

を整え、県内外の住民の唯一の

憩いの地としての観光とレクリ

エーションの町。

以上の二歩が今後にかける未

来都市勝山、田園都市勝山の基

となるべきだと思います。今は

たちの成りとなつた勝山市、一

歩は軽く二歩は重い。更に前途

は厳しく苦難の道ではあります

が、やらねばならず、やれば出

来る確信と光明を求める、更に大

きな夢を描くことが今勝山市の

勤げる町。

(5)行ってみたくなる町

自然の山と水、そして雪、四季

を通じて恵まれた天然の美観

を整え、県内外の住民の唯一の

憩いの地としての観光とレクリ

エーションの町。

以上の二歩が今後にかける未

来都市勝山、田園都市勝山の基

となるべきだと思います。今は

たちの成りとなつた勝山市、一

歩は軽く二歩は重い。更に前途

は厳しく苦難の道ではあります

が、やらねばならず、やれば出

来る確信と光明を求める、更に大

きな夢を描くことが今勝山市の

勤げる町。

(5)行ってみたくなる町

自然の山と水、そして雪、四季

を通じて恵まれた天然の美観

を整え、県内外の住民の唯一の

憩いの地としての観光とレクリ

エーションの町。

以上の二歩が今後にかける未

来都市勝山、田園都市勝山の基

となるべきだと思います。今は

たちの成りとなつた勝山市、一

歩は軽く二歩は重い。更に前途

は厳しく苦難の道ではあります

が、やらねばならず、やれば出

来る確信と光明を求める、更に大

きな夢を描くことが今勝山市の

勤げる町。

(5)行ってみたくなる町

自然の山と水、そして雪、四季

を通じて恵まれた天然の美観

を整え、県内外の住民の唯一の

憩いの地としての観光とレクリ

エーションの町。

以上の二歩が今後にかける未

来都市勝山、田園都市勝山の基

となるべきだと思います。今は

たちの成りとなつた勝山市、一

歩は軽く二歩は重い。更に前途

は厳しく苦難の道ではあります

が、やらねばならず、やれば出

来る確信と光明を求める、更に大

きな夢を描くことが今勝山市の

勤げる町。

(5)行ってみたくなる町

自然の山と水、そして雪、四季

を通じて恵まれた天然の美観

を整え、県内外の住民の唯一の

憩いの地としての観光とレクリ

エーションの町。

以上の二歩が今後にかける未

来都市勝山、田園都市勝山の基

となるべきだと思います。今は

たちの成りとなつた勝山市、一

歩は軽く二歩は重い。更に前途

は厳しく苦難の道ではあります

が、やらねばならず、やれば出

来る確信と光明を求める、更に大

きな夢を描くことが今勝山市の

勤げる町。

(5)行ってみたくなる町

自然の山と水、そして雪、四季

を通じて恵まれた天然の美観

を整え、県内外の住民の唯一の

憩いの地としての観光とレクリ

エーションの町。

以上の二歩が今後にかける未

来都市勝山、田園都市勝山の基

となるべきだと思います。今は

たちの成りとなつた勝山市、一

歩は軽く二歩は重い。更に前途

は厳しく苦難の道ではあります

が、やらねばならず、やれば出

来る確信と光明を求める、更に大

きな夢を描くことが今勝山市の

勤げる町。

(5)行ってみたくなる町

自然の山と水、そして雪、四季

を通じて恵まれた天然の美観

を整え、県内外の住民の唯一の

憩いの地としての観光とレクリ

エーションの町。

以上の二歩が今後にかける未

来都市勝山、田園都市勝山の基

となるべきだと思います。今は

たちの成りとなつた勝山市、一

歩は軽く二歩は重い。更に前途

は厳しく苦難の道ではあります

が、やらねばならず、やれば出

来る確信と光明を求める、更に大

きな夢を描くことが今勝山市の

勤げる町。

(5)行ってみたくなる町

自然の山と水、そして雪、四季

を通じて恵まれた天然の美観

を整え、県内外の住民の唯一の

憩いの地としての観光とレクリ

エーションの町。

以上の二歩が今後にかける未

来都市勝山、田園都市勝山の基

となるべきだと思います。今は

たちの成りとなつた勝山市、一

歩は軽く二歩は重い。更に前途

は厳しく苦難の道ではあります

が、やらねばならず、やれば出

来る確信と光明を求める、更に大

きな夢を描くことが今勝山市の

勤げる町。

(5)行ってみたくなる町

自然の山と水、そして雪、四季

を通じて恵まれた天然の美観

を整え、県内外の住民の唯一の

憩いの地としての観光とレクリ

エーションの町。

以上の二歩が今後にかける未

来都市勝山、田園都市勝山の基

となるべきだと思います。今は

たちの成りとなつた勝山市、一

歩は軽く二歩は重い。更に前途

は厳しく苦難の道ではあります

が、やらねばならず、やれば出

来る確信と光明を求める、更に大

きな夢を描くことが今勝山市の

勤げる町。

(5)行ってみたくなる町

自然の山と水、そして雪、四季

を通じて恵まれた天然の美観

を整え、県内外の住民の唯一の

憩いの地としての観光とレクリ

エーションの町。

以上の二歩が今後にかける未

来都市勝山、田園都市勝山の基

となるべきだと思います。今は

たちの成りとなつた勝山市、一

歩は軽く二歩は重い。更に前途

は厳しく苦難の道ではあります

が、やらねばならず、やれば出

来る確信と光明を求める、更に大

きな夢を描くことが今勝山市の

勤げる町。



市役所を訪れた西独青年たちを歓迎する池田助役



自分たちの絵を配る園児たち（旭町2丁目国道で）

秋晴れのさわやかなこの日、午前十時から成器南・西・北坊園の園児らは、街頭にて、自分たちがかいどをドライバーに手渡し、交通安全を呼びかけました。

「うんてんきをつけたね」

“うんてんきをつけたね”

園児らドライバーに絵など配る

先生に引率され、市内の道路三か所で、一週間がかりでつくった造花や壁掛け、交通安全を呼びかける標語をかいだ絵などを運転者に手渡しました。

園児が差し出す絵や造花を受取ったドライバーたちは

「ありがとうございます、きをつけるよ」とニッコリ、幼い子らの願いに心を新たにしていました。

と九月二十日、市内の幼稚園児たち百八十三人が

自分がかいどをドライバーに手渡し、交通安全を呼びかけました。

この大会の成績は次のとおり

です。

団体戦

優勝 荒土A（大谷、鷹瀬、布川）

二位 北郷（横井、林、笠川）

三位 村岡（広田、酒井、青木）

四位 勝山C（齊藤、中村）

大藏大臣・日銀総裁賞を受賞

グーテン・ターグ（こんにちわ）

西独青年と交流

平泉寺の苔と民泊に強い印象

世界青少年交流協会（東京）の招きで来日した西ドイツ青年一行は、二十二日勝山市を訪問、市内の青年たちと国際交流をしました。翌二十三日は午前中、勝山高校で生徒らとスポーツ交流を行なった。この一行十六人は、リーダーのビーター・クラウスさん（四）大学生をはじめ十七—二十七歳までの高校生、大学生、公務員でうち七人が女性。午前十一時少し前、市役所に着いた西ドイツ青年らは公室で池田助役に迎えられ、「ようこそ勝山へ、短い日程ですが私たちの町を十分見てもらいたい」と歓迎しました。

そのあと市内の織維会社を見学した後、雨の平泉寺を拝観しました。西ドイツ青年らは「なんとすばらしい苔だ。雨の杜もまた美しい」と口々に感銘していました。

午後二時から労働福祉センターで市内の青年二十人と討論会

が開かれ、西ドイツの青年たちも「ばち」をもって太鼓にいどみ、居並ぶ人たちから拍手が湧くという駒もあり、また餅つきでも危かしい腰つきで、「きね」を振り上げていました。こうして日独の青年たちは心ゆくまで話し、歌い国際親善を果しました。

一行は市内有志の家庭で民泊、翌日は勝山高校でバレー・ボーリングなどスポーツで交流、勝山での日程を終えました。

この交流を成功させ、さらに各団体が設立されました。会員

かるために、勝山市国際親善友好協会が設立されました。会員は約二十人です。今後の活動が期待されます。

この日は市が誕生して満二十

年の記念すべき日で、絶好のスポーツ日和、午前十時から市役所前広場で開会式が開かれ

香藤忠大会長が「日ごろ鍛えた

技術を十分發揮して立派な大会に

参りほし」とあります。高野

市長、香藤体協会長の激励のこ

とはあと、野向チームの平林

慎一君が参加選手を代表して力

強く宣誓、式を終りました。

出発点の市役所前を正午砲

にスタート、十三区間三十五。

午後二時四分過ぎ野向チーム

のアンカー西村誠一選手がゴーリン、統いて最終区間で遂に

二位鹿谷チームを追いぬいた北

郷チームの選手がゴール、三位

に鹿谷チーム、そのあと全子一

ムが完走決勝点に入りました。

今回の大会は市制二十周年記念大会とあって、コースの沿道には大勢の市民が出て選手を声援、たいへん盛り上ったレースとなりました。

人賞チームとタイム、区間賞は次のとおりです。

午後二時四分過ぎ野向チーム

のアンカー西村誠一選手がゴーリン、統いて最終区間で遂に

二位鹿谷チームを追いぬいた北

